

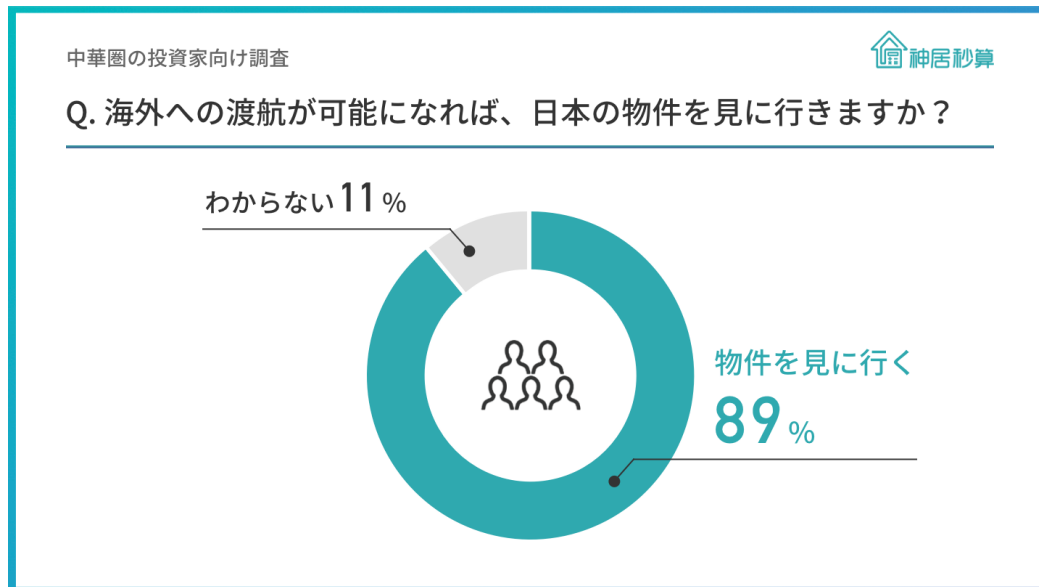
# PRESS RELEASE

## 報道関係者各位

2023年1月18日(水)  
株式会社GA technologies

### 中華圏の投資家89%が「海外への渡航が可能になれば、日本の物件を見に行く」と回答、投資物件の所在地は東京が最多

株式会社GA technologies [GAテクノロジーズ]（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：樋口 龍、証券コード：3491、以下「当社」）のグループ会社である、株式会社神居秒算（本社：東京都港区、代表取締役：趙 潔、以下「神居秒算社」）は、中華圏最大級の日本不動産プラットフォーム（※1）「神居秒算」にて不動産投資に関心がある中華圏の投資家100名に、「日本不動産への関心と購入意欲」について調査を実施しました。



本調査では、89%の中華圏投資家が「海外への渡航が可能になれば、日本の不動産を見に行く」と回答し、新型コロナウイルス発生から3年経過した今も日本不動産への関心の高さが窺えます。投資物件の所在地として最も関心が高かったのは東京、次いで北海道、大阪・京都という結果になりました。予算に関しては1,000万円～3,000万円が最も多く全体の34%、投資物件の間取りとして最も関心が高かったのは1R/1Kで40.6%、一棟ビル28.7%で、タワーマンションは12.9%という結果でした。

なお、本件による当社の業績への影響は軽微です。

※1 「インバウンド不動産投資ポータルサイトの物件掲載数（2020年4月末時点）」をもとに神居秒算社（旧NeoX株式会社）調べ

本リリースに関する問い合わせ先

株式会社GA technologies 広報：早田・Judy (080-8899-1699)

Mail : pr@ga-tech.co.jp

## 『調査結果サマリー』

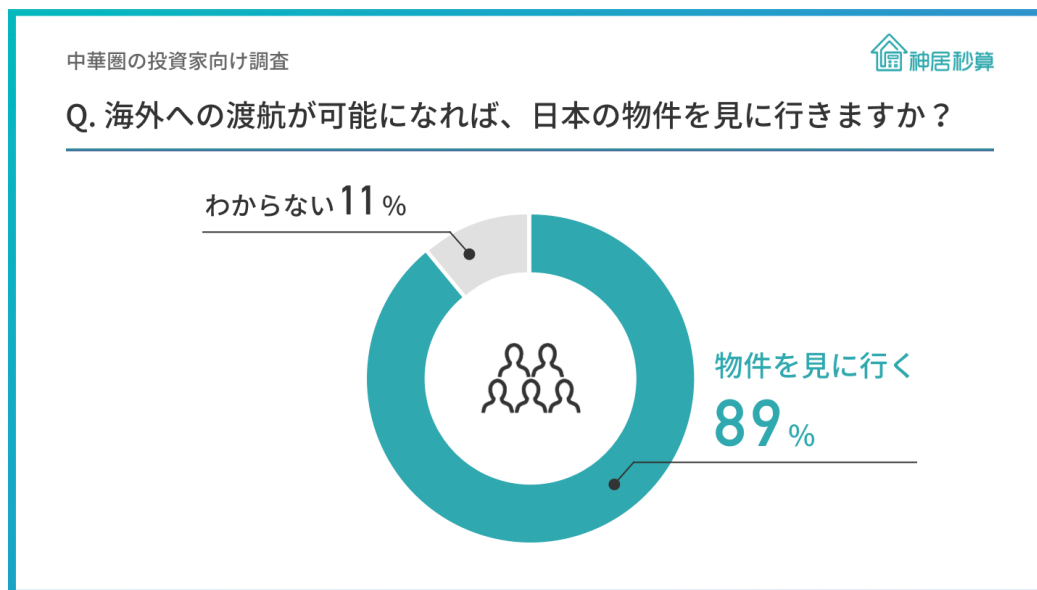
- 中華圏の投資家89%が、「海外への渡航が可能になれば日本の不動産を見に行く」と回答
- 日本の投資不動産購入における予算は、1,000万円～3000万円が全体の34.7%で最多
- 投資物件の所在地として、関心が高いのは首都の東京が47.5%と最多、次いで北海道が19.8%、大阪・京都が14.9%という結果に
- 日本不動産投資において最も関心が高い間取りは、1R/1Kで40.6%、一棟ビル28.7%、タワーマンションは12.9%
- 日本の不動産に投資する一番の理由として、「安定した収入」が33.8%と最多、次いで「利回り」32.5%

## 今回の意識調査結果ピックアップ

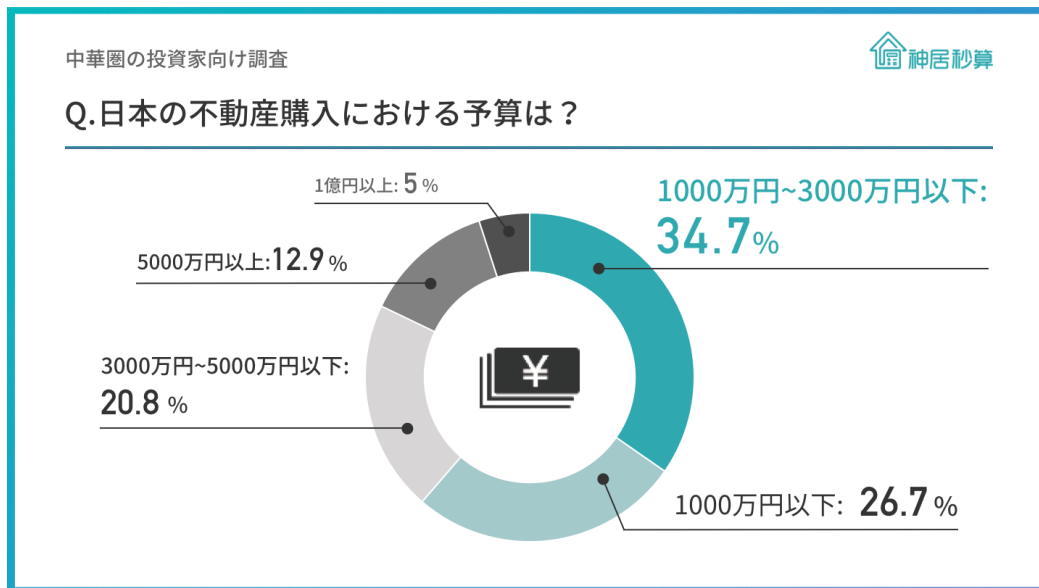
## 「海外への渡航が可能になれば、日本の物件を見に行く」と89%が回答

「海外への渡航が可能になれば、日本の物件を見に行きますか」という質問に対し、89%が「物件を見に行きたい」と回答しました。

1月8日に中国政府は新型コロナウイルス対策を抜本的に緩和、中国オンライン旅行会社大手、携程集団（トリップドットコム・グループ）によると、21～27日の春節（旧正月）の大型連休における海外旅行予約件数が前年の春節と比べ6.4倍に増え、日本は行き先の第3位にランクインしました。今後、中国から日本への渡航が可能になり、日本に物件を見にくる人が増加する傾向があることが窺えます。

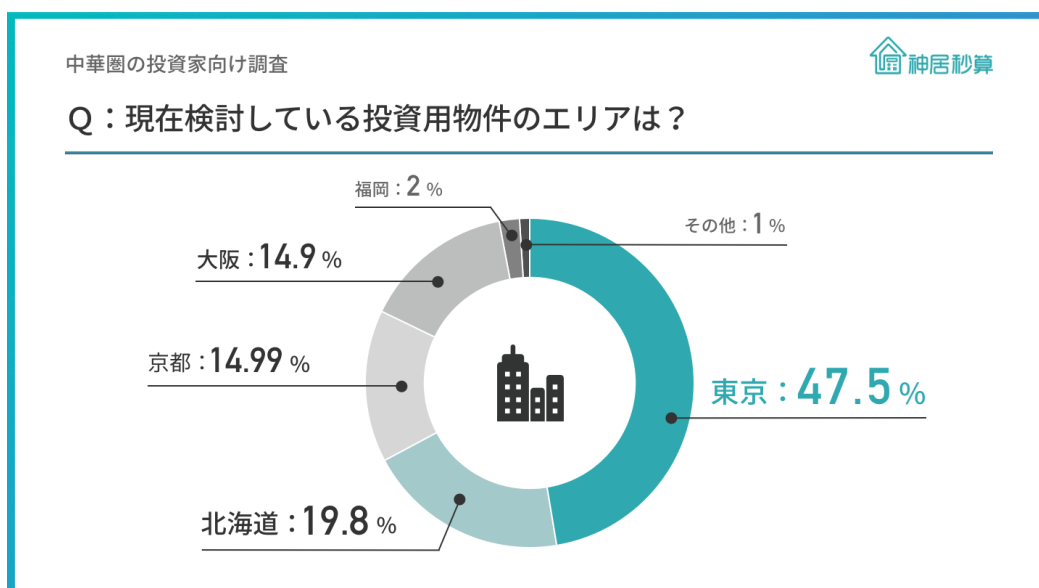


日本の不動産投資における予算について、「1,000万円～3,000万円」は34.7%、「1,000万円以下」は26.7%、「3,000万円～5,000万円」は20.8%



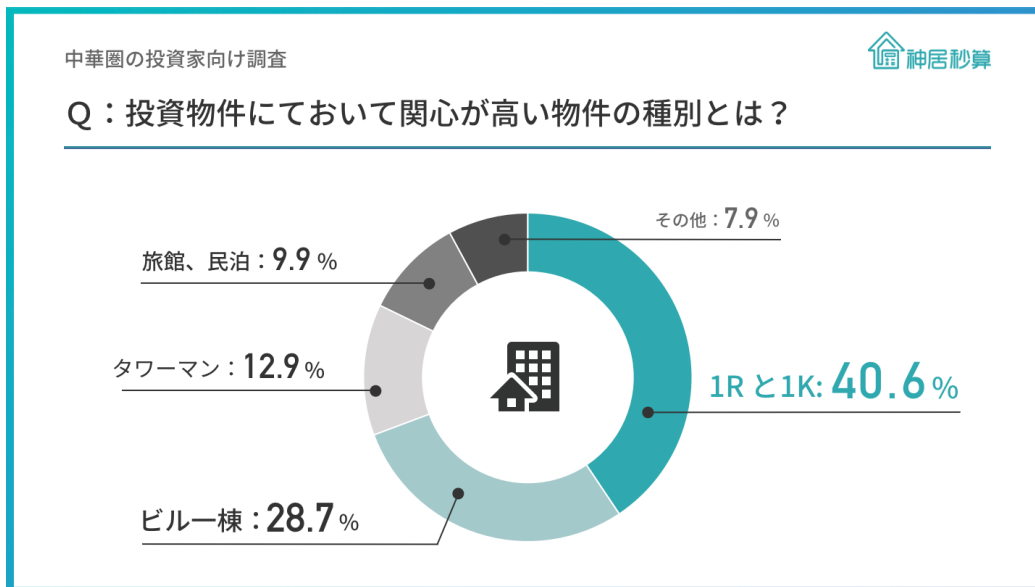
現在購入を検討している投資用物件のエリア1位東京、2位北海道、3位京都と大阪

「現在検討している投資用物件のエリア」について質問したところ、「東京」が47.5%、「北海道」が19.8%、「京都」「大阪」が14.99%と回答しました。「福岡」は2%と人口が多い都道府県に人気を集めていることがわかります。



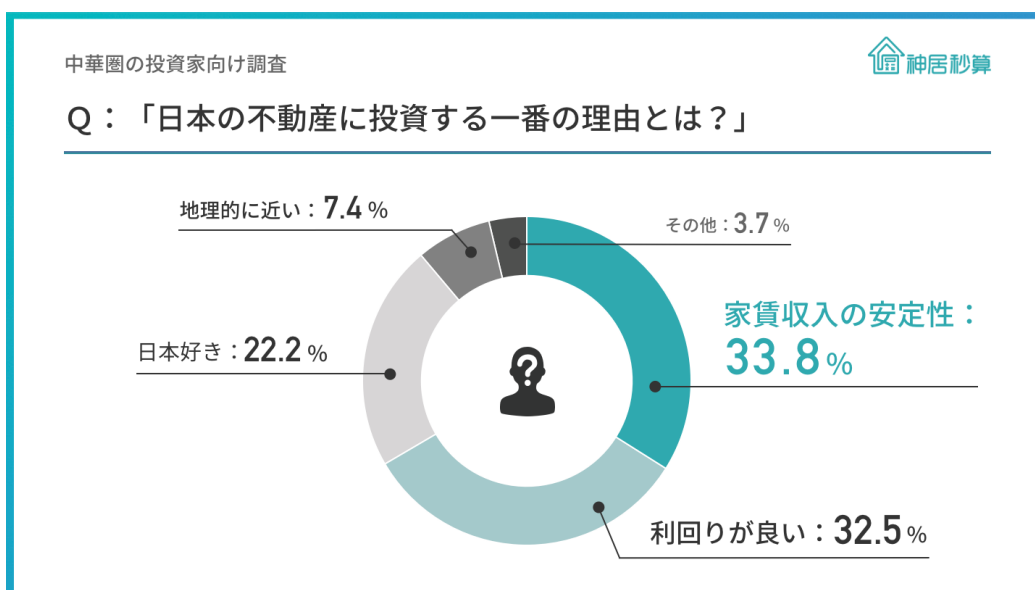
関心がある投資物件の種別に関して、1R/1Kが最も多く40.6%、次いでビル一棟が28.7%、タワーマンションが12.9%

関心がある投資物件の種別に関して質問したところ、「1K/1R」という回答が40.6%になりました。次いでビル一棟が28.7%、タワーマンションが12.9%となりました。



また、日本の物件に投資したい理由について質問したところ、「安定した収入」が33.8%、「利回り」が32.5%となりました。

一般財団法人日本不動産研究所が2022年5月に発表した、第18回「国際不動産価格賃料指数（2022年4月現在）」の調査結果から、世界の主要都市に比べ東京のマンション/高級住宅価格が割安な一方で、賃料はロンドン、ニューヨーク、香港、シンガポールに次いで高いことがわかっています。



このようなデータからも、海外投資家が日本不動産に投資する理由が「安定した収入（賃料）」、「利回り」であることが窺えます。

## 調査概要

調査時期：2022年9月6日（火）～2022年11月21日（月）

調査対象：神居秒算ユーザーの男女100名

調査方法：インターネット調査

## 神居秒算 会社概要

神居秒算社は、「テクノロジーでグローバルの橋を構築する」を経営理念として掲げ、日本の不動産仲介会社と中華圏の投資家を結ぶプラットフォーム「神居秒算」を運営しています。「神居秒算」は、2022年累計約450万PV（ページビュー）、約110万UU（ユニークユーザー）と、日本不動産の検索サイトとして、中華圏投資家からの注目を集めています。

サービスサイト：<https://www.shenjuliaosuan.com/>

## 社名：株式会社神居秒算

代表者：代表取締役 趙 潔

URL：<https://www.shenjuliaosuan.com/company>

本社：東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー40F

設立：2016年12月

資本金：500万円

事業内容：中華圏投資家向けプラットフォーム「神居秒算」の運営

## GA technologies 会社概要

社名：株式会社GA technologies

代表者：代表取締役社長執行役員 CEO 樋口 龍

URL：<https://www.ga-tech.co.jp/>

本社：東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー40F

設立：2013年3月

資本金：72億3879万8466円（2022年10月末時点）

事業内容：

- ・ ネット不動産マーケットプレイス「RENOSY」の開発・運営
  - ・ SaaS型のBtoB PropTechプロダクトの開発
- 主なグループ会社：イタンジ株式会社、株式会社RENOSY PLUS、株式会社神居秒算など他12社